



月刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

93.3.31 No.3768

攻撃格差勝利・スト貫徹



↑86.2オ2波スト公判の勝利報告

3.25スト突入者代表がそれぞれ決意表明

● 力で支援していききたい
「総武支部・杉本書記次長
「昨年・今年と二回の営業合理化で、四回
目の配転を受けている組合員が総武支部にい



4ト2ストに向けてその8

● 廃止前提の所に配転させられている現実を全体が認識して欲しい。第二波公判判決は、改めて分割・民営化とは何だったのか問い直されるものだ。自力・自衛・連帯をスローガンに闘い抜く」
● 京葉支部・吉野執行委員
「京葉支部は三名がストに決起した。今後原職奪還まで頑張る」
● 木更津支部・斉田組合員
「人活センター組で、山羊の世話からゴミ拾いまでやらされた。検修業務を忘れない前に原職を奪還したい」

● 館山支部・赤羽根組合員
「強制配転から六年間が経過した。安全第一・サービスマン第一としてJRの言っていることはデタラメだ。原職奪還を貫徹する」
● 勝浦支部・吉野組合員
「塩づけは保存食だ。味のある闘いを展開しよう。JR情勢の現状から見ても、勝利への展望は拓けてきている」
● 銚子支部・川上組合員
「今春闘争の勝利へ最後まで頑張る」
● 津田沼支部・浜野組合員
「原職奪還へ向けて最後まで頑張りたい」

春季第二波ストを貫徹

三・二五スト貫徹
決起集会報告その2

三月二十六日、JR東日本・貨物が「九三年度新賃金」回答を行ってきたことは、速報した通りであるが、その回答内容「東日本四・五二%（一四、〇〇九円）、昨年比一・〇六%のマイナス、額にして二五〇〇円の低額であり、貨物に至っては〇・六九%減の三・九六%、額にして一七・一五円減の超低額回答。実質賃金にも満たず、私鉄大手にも満たないものであり、怒りに身が震えるものがある。さらに貨物は、昨九二賃金でのJR四国・

九州（経営安定基金の運用率で運営）よりも低額強行に続き、今新賃金においても昨年同様四国・九州会社よりも低額回答。会社間格差を拡大してきたのだ。断じて許せない！さらに許せないことは、この超低額回答をJR総連・日貨労・東労組が裏切り妥結をし、国鉄労働者の切実な権利と生活を売り渡したことだ。「JR体制」こそ最大最悪の環である。われわれは春季第三波「四・一」二ストの貫徹を通し、「JR体制」を打倒しよう！

JR貨物 弾劾 またしても 格差を拡大

スト破り褒賞金支払事件 3/29勝利命令!

千葉地労委命令書 主 文

- 1 被申立人（JR東日本）は、申立人（動労千葉）が実施した平成元年12月5日、平成2年1月18日、同年3月18日ないし21日及び同月30日のストライキに参加した申立人組合員のうちストライキ実施後に被申立人の従業員であった者に対して、それぞれ参加日数に3,000円を乗じた金員を支給しなければならない。
- 2 被申立人は、申立人の行なう争議行為に際して、今後争議不参加者に褒賞金その他いかなる名目をもって、金員等を支給するなどして申立人組合の運営に支配介入してはならない。

反合・運転保安確立！ 反戦・反核を担う労働運動を！